

ベトナム海外研修を終えて

私にとって初めての海外となった今回の海外研修は、発見や学びが多くありました。現地で過ごした時間は私の海外のイメージを一新するようなものでした。

一番印象に残っているのは、現地の学生たちとの交流です。言葉が完璧に通じなくても、笑顔で接してくれる彼らの温かさに何度も助けられました。また、本場のフォーやバインミーなどの料理、活気あふれる街の雰囲気など、日本とは全く違う文化を感じることができ、世界の広さを感じたとともに私が知らない他の国の文化も体験したいと思うようになりました。

私は英語が一番苦手な科目です。現地では伝えたいことが単語ですらも言葉が出ず、悔しい思いをしました。苦手だからと避けるのではなく、しっかり勉強しなければならないと痛感しました。

私は将来、小学校の先生になりたいと考えています。今回の経験を通して、子どもたちに伝えたいと思ったことがあります。それは、間違いを恐れないことです。言葉では伝わらないことは多くあり、伝えようとする気持ちや努力が大切だと思いました。学校のテストでは完璧な英語が必要かもしれません。実際に外国の方と話す時は完璧じゃなくても伝わります。では、完璧に英語を学習する必要はないのかといえばそうではありません。その完璧な英語は、言葉の引き出しであり、それは伝えようとする気持ちや努力の表れであります。私は英語の語彙をさらに増やし、自分の言葉で自信を持って伝えられるようになりたいと思いました。子どもたちにも自信を持って恐れずに英語を話そうとして欲しいです。また、英語を勉強する意味をベトナムでの経験をもとに伝えられたらいいなと思います。